

## いっしょにあそぼ！！

- 日時 平成28年10月29日（土） 10:00～12:00
- 会場 大津市 明日都ふれあいプラザ4階ホール
- 参加数 親子30組
- 参加費 無料
- 目的 現在地域型保育を行っている保育者が、地域型保育を利用していない子どもさんとその保護者・家族の方々を対象に、一緒に遊ぶ場を設定し、地域型保育の様子や保育内容を紹介するとともに地域型保育を伝えるために実施する。

大津市の家庭的保育室が集まって開催する初めてのイベントでした。

近くの保育室同士交流保育はあるものの、市全域での交流はなかったので、今回は北部、中部、南部、東部と大津市を4つのブロックに分けて、出し物、コーナーを企画し、用意しました。

### ◎舞台前での各ブロックの出し物

#### ●『中部地区 ふれあい遊び』

開会から続けて親子での手遊びや、ふれあい遊びだったので、そのまま残っていただき、多くの方と一緒にできました。



#### ●『東部地区 寸劇「ねこのおいしゃさん」』

2歳児が多いかな？という設定での題目でしたので、0歳児が多く難しかったかな？と思われました。



#### ●『北部地区 ペープサート「はらぺこあおむし」』

ペープサートを始める前に「キャベツの中から」という手遊びをしてから始めました。始まる前に大型絵本をステージに置いておくと、知っているお話しに呼びかけなくても集まってくれていました。初めは大型絵本からお話しが始まり途中からペープサートに変わりましたが、子どもだけでなく保護者の方にも楽しんでいただくことができました。



#### ●『南部地区 ゲーム遊び「じゃんけん新幹線」』

全体的に参加者の年齢が低かったこともあり、電車に乗りたがる子どもさんが少なく、喜ぶかなと思った「駅長さんスタイル」も、ちいさなお子さんには、少し怖かったかも知れません。



## ◎ブロックごとのコーナー遊び

### ●北部 製作コーナー

ちょうどハロウィンの時期と重なったので、ハロウィンにちなんだ、カボチャやおばけ、コウモリのパーツを冠に貼り「ハロウィン冠」を親子で作ってもらいました。0歳児のお子さんには少し難しかったのですが、保護者の方が作ってそれをお子さんにかぶせてあげていました。1・2歳児は親子で一緒に作る姿があり、出来上がった冠を喜んでかぶってお友達と一緒に写真を撮っておられる方もいました。(田中)



### ●中部 新聞プールコーナー

2つの大きいプールを置いて準備しました。想定よりも年齢層が低かったのですが、親子で一緒に入って遊ぶ姿が見られた。まだ座位がやっとの赤ちゃんでも保護者の方に見てもらいながら口へ入れることもなく、感触を楽しんでいたようで「家ではできないですね」という声も聞かれて、ダイナミックに遊ぶ子どもの姿も見られました。

### ●南部 ボール遊びコーナー

普段、保育室で遊んでいるボール遊びを参考に段ボールにボールを入れてそれがペットボトルの筒を通して転がって落ちてくる遊びをしました。並んで待たなければならないほどではありませんでしたが、とても盛況で、一人でボール投げをするお子さんや、タライにボール入れたり出したりして遊ぶお子さんの姿が見られました。

(川嶋)



●東部 魚つりコーナー

魚つりのコーナーも2歳児対象になっていたのですが、0歳児でもできる魚つかみや釣り竿を年齢に合わせて変えてあげたかったです。（河崎）



保育室で使っている手作りおもちゃの体験コーナー

◎「いっしょにあそぼ！」を開催して

大津市の地域型保育室がみんなで何かを一緒にやる初めてのイベントでした。日々の保育に追われながら、ブロック長を中心に個々に用意して持ち寄って開催する形となりました。前日の保育を終えてから会場の用意を始めましたが、19室の保育室が力を合わせるとこんなすごいことができると実感できた体験でした。

事前申込みが11組23名、当日参加が12組24名で、ほとんどが0歳児、1歳児。出し物やコーナーも2歳児の設定で作っているものもあったため、赤ちゃんのコーナーや写真撮影できるような工夫も必要であったと感じ、待機児童も0歳児1歳児が多いのだと改めて感じることができました。小さいお子さんだったこともあのスペースにちょうど良い人数だったこともあり、個別に保育者とお話しができ近くの保育室を紹介したりお声かけすることもできました。

大津市も東西南北に広いため、今回中心地での開催となりましたが、もっと広く周知できるように地区ごとの開催も視野に次への期待も持てました。

当日お手伝いいただいた行政の方には心より感謝申し上げます。これからも家庭的保育の発展、そして多くの方に知っていただくために頑張っていきたいと思います。

（大江）

